



学校だより

3月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 今野 裕子

令和6年2月29日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

おかげさま

こう ちょう こんの やすこ
校長 今野 裕子

昭和44年4月1日、藤の木小学校がここ久良岐の丘に開校してから、55年の月日が経ちました。開校当初の写真を見ると、周りに建物はほとんどなく、校舎は第1校舎のみで、周りの壁もなければ中庭の池もなく、シンボルの藤の木もまだ植えられていなかったようです。先月の開校記念式で、一枚の写真パネルを全校児童に紹介しました。昭和22年にこの地域を空撮したもので、山、畑、くねった細道と大岡川、そして京浜急行電鉄の前身となる路線が写っています。藤の木小学校のあたりは現在の久良岐公園に続く山になっており、山を切り開いて開校したことがしのばれます。さかのぼれば、目の前の道では刀を携えたお侍が「いぎ鎌倉！」と馬を走らせていたかもしれません。縄文時代には、石の矢じりがついた槍で獲物を追ったり、近くの浜辺で貝を拾い集めていたりしていたかもしれません。写真パネル一枚でも、そこから限りない想像が膨らみ、歴史のロマンを感じます。

別の古い資料に、当時どのような思いで開校を迎えて生活を送ったのか書かれていました。『これから藤の木小学校が何百年、何千年続かわかりません。その学校の、私たちはご先祖様なのです。校章、校旗もそのうちにできます。校章が、校旗が、恥ずかしくないような立派な学校にしたいものです。～中略～横浜には、たくさんの小学校がありますが、藤の木のような、恵まれた学校はあまりありません。緑の木、澄んだ空気、静かな環境、本当に幸せです。PTAの人たちも、一生懸命に私たちをかわいがってくださいます。こんな良い学校で勉強できる私たちは、本当に良いご先祖様にならなければいけないと思います。ご先祖様がしっかりしていなければ、立派な弟や妹ができるわけがありません。』

ご先祖様がしっかり土台を作り、脈々と歴史をつないで55年。その令和5年度も、あと一か月で終わりを迎えます。6年生は卒業まで残り13日、1年生から5年生も16日間の登校の中で、これまでの取組を振り返り、次への準備を進めていきます。私たちが自身が立派な弟や妹になるために、これからも努力を重ねていくことはもちろん、校章や校旗が恥ずかしくない学校にしていく努力も重ね、未来の藤の木小学校の立派なご先祖様になっていきたいと思っています。

この一年間、保護者の皆様、PTA活動を支えてくださった西海会長はじめ役員・各委員の皆様、放課後や休日の地域生活を見守ってくださった各地域や関係機関の皆様、登下校の安全を見守ってくださった学援隊の方々、読み聞かせや学習サポート・環境整備などにご協力してくださったキックロ応援隊の皆様、ありがとうございました。おかげさまで、児童の学習の充実を図ることができました。改めて感謝申し上げます。これから先も、どうぞよろしく願いいたします。

<横浜市教育委員会表彰を受けることになりました> 長年、子どもたちの登下校を見守ってくださっている学援隊(安全パトロール)の、浅田 稔さん、佐野 達雄さん、平本 完光さんが、この度、横浜市教育委員会より表彰を受けることになりました。地域にあなたが笑顔とあいさつの輪を広げながら、雨の日も風の日も、太陽が照りつける暑い日も、子どもたちを見守ってくださいました。ありがとうございました。